

横浜市立義務教育学校  
**西金沢学園**  
小学部・中学部



<本校舎>



<分校舎>

(本校舎)

〒236-0046

横浜市金沢区釜利谷西四丁目19番1号

TEL 045-784-0921・0922、045-782-2560

FAX 045-701-8045

(分校舎)

〒236-0046

横浜市金沢区釜利谷西四丁目8番1号

TEL 045-782-7577

FAX 045-783-9739



## はじめに

本校は、平成 22 年 4 月より、釜利谷西小学校と西金沢中学校による「横浜市立小中一貫校 西金沢小中学校」として 7 年間教育活動を展開してまいりました。

そして、平成 29 年 4 月、昨年度からは、「横浜市立西金沢義務教育学校」、教育委員会規則名「横浜市立義務教育学校 西金沢学園」として新たにスター

トいたしました。

義務教育学校とは、平成 27 年 6 月に学校教育法が改正（H28 年 4 月施行）され、小学校から中学校までの義務教育期間の課程を一体化させた学校となります。初年度の 28 年度は、全国に 22 校でスタートし、46 校、80 校、今年度の 4 月に 91 校という現状ですが、学校教育制度の弾力化や 9 年間の教育活動について特色ある活動を展開することが容易となることから、今後も予定している学校が数多くあります。

現在、横浜市内では 2 校設置されていますが、小学部と中学部の施設が一体となっているのは本校だけです。この利点を生かし、学校教育目標「世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生き方を創り出す力を育てます」実現に努めてまいります。具体的には、丁寧且つ手厚い学習支援や行事による「きめ細かな学び」と、恵まれた自然環境や人の関わりによって育む「豊かな成長」を図ってまいります。

本校での教育制度は、1～4 年生、5～9 年生と大きく 4 年間と 5 年間とに分けております。前期課程との区切りを意識すれば、子ども達の成長した姿を、4 年生、6 年生、9 年生の 3 つのステージとし、hop、step、jump の精神で指導しております。

小学部の低学年においては、幼稚園・保育園等との繋がりを大切に少しずつ学校文化へと移行してまいります。5 年生からは、学習指導の充実を図るための教科担任制や複数教員による授業の展開等を行ってまいります。学校行事についても同様に考えております。このことによって滑らかな教育活動の展開が図られ、中 1 ギャップの解消にもつながります。

特色ある教育活動としては、「国際交流」（アジア・オーストラリア・アフリカ）、「地域交流」（異校種・動物園・地域）、「授業力向上」（英語活動・E S D 教育・言語活動）といった大きな 3 本の柱を立て、実践を図っております。

また、施設が一体であることから、日常的に小学生と中学生の交流が容易で、互いに認め合うことが豊かな感情の醸成へとつながります。

義務教育学校として、よりよい教育活動を、今後も模索しながら、教職員一同、信頼される学校づくりを進めてまいります。特認校就学をご検討いただければ幸いです。



令和元年 11 月 23 日

義務教育学校西金沢学園  
校長 増田 昌浩

# 横浜市立義務教育学校 西金沢学園 全体計画

## 国や横浜市の方針

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法

学習指導要領

横浜版  
学習指導要領

(横浜教育ビジョン)

## 学校教育目標

世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生き方を創り出す力を育てます。

- ① 人間愛豊かな心をはぐくみます。(徳・公) → 「人間愛」
- ② 自主・自立の力を高めます。(知・体・公) → 「自主・自立」
- ③ 考える力を伸ばします。(知・開) → 「考える力」
- ④ なかまづくりや地域社会へのかかわりを大切にします。(徳・公・開) → 「なかま・まち」

## 地域・保護者・学校の願い

- ★思いやりの心を持ち、信頼し合える人になろう。
- ★心身の健康に留意し、豊かな感受性と創造性を身に付けた人になろう。
- ★自分から進んで学び、自分の個性を高める人になろう。
- ★日本の文化から世界の文化へと目を向ける人になろう。
- ★家庭・地域の一員としての自覚をもてる人になろう。

## 成長過程における取組目標

	第1学年～第2学年	第3学年～第4学年	第5学年～第7学年	第8学年～第9学年
に	◆身の回りにいる人に、気持ちよい挨拶ができるようにします。 ◆身の回りには、たくさんの尊い生命があることに気付き、美しいものに触れて素直に感動する気持ちをもてるようにします。 ◆よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことは進んで実行できるようにします。	◆自分から進んで挨拶をしたり、相手の気持ちを考えて行動したりできるようにします。 ◆身近にある生命あるものを大切に、自然の素晴らしさや美しいものに感動する気持ちを育てるようにします。 ◆正しいと判断したことは、勇気をもって実行できるようにします。	◆時と場に応じた適切な挨拶や言葉遣いを身に付け、だれに対しても思いやりと感謝の気持ちをもって行動できるようにします。 ◆自他の生命を尊重し、美しいもの崇高なものに感動する心や自然に対する畏敬の念をもてるようにします。 ◆差別や偏見を許さない心と勇気をもって行動できるようにします。	◆礼儀を重んじ、互いの人権を尊重し合い、だれに対しても思いやりと感謝の気持ちをもって行動できるようにします。 ◆自他の生命を尊重し、自然を愛護し、美しいもの崇高なものに感動する豊かな心をもてるようにします。 ◆正義を重んじ、だれに対しても公正、公平な態度で行動できるようにします。
し	◆身近な大人の支援を受けながら生活リズムを整え、自分でできることを進んで増やしていく姿勢が身に付くようにします。 ◆自分や友達とのよさや違いに気付き、認め合えるようにします。	◆健康な生活を送ることの大切さに気付き、自分でできることを進んで行い、粘り強く取り組めるようにします。 ◆自分の特徴に気付き、自分のよさを伸ばせるようにします。	◆基本的な生活習慣を確立し、規範意識をもって主体的に物事に取り組み、責任のある行動がとれるようにします。 ◆自尊感情を持ち、自分のよさを積極的に伸ばせるようにします。	◆望ましい生活習慣を確立し、規範意識を高め、自分の役割を自覚して責任のある行動がとれるようにします。 ◆自尊感情を高め、自らの個性を生かし、主体的に自己の生き方(可能性)を追究できるようにします。
か	◆人の話をしっかり聞き、自分のやるべきことを理解して最後までやり遂げることができるようにします。 ◆自分なりの方法で、自分の思いや考えを表現できるようにします。	◆人の話を素直に聞き、課題の解決に向けて、自ら考え、意欲的に取り組むことができるようにします。 ◆相手にわかる方法で、自分の思いや考えを表現できるようにします。	◆知識や技能を確実に習得し、自ら課題をもち、解決に向けて様々な角度から物事を考え、自分なりの判断ができるようになります。 ◆様々な方法で、自分の思いや考えを表現できるようにします。	◆知識や技能を確実に習得し、課題解決に向けて論理的に思考し、適切な判断ができるようになります。 ◆適切な方法で、自分の思いや考えを表現できるようにします。
な	◆友達と仲良く助け合って行動できるようにします。 ◆友達や身近な人々と進んでコミュニケーションを図ることができるようにします。 ◆地域の自然や文化に親しみ、愛着をもてるようにします。	◆学級・学校の一員としての自分の役割に気付き、友達と協力して行動できるようにします。 ◆友達や地域の人たちと進んでコミュニケーションを図ることができるようにします。 ◆郷土や我が国の伝統・文化、外国の人々や文化に関心をもてるようにします。	◆学級・学校の一員としての自覚をもち、リーダーシップを発揮し、様々な課題に協力して取り組むことができるようになります。 ◆地域の人たちや外国の人たちとも進んでコミュニケーションを図ることができるようにします。 ◆我が国や横浜の伝統・文化、異なる国の文化への関心を高め、国際社会の様々な課題に関心をもてるようにします。	◆地域社会、国際社会の一員としての自覚をもち、広い視野に立った見方、考え方で、様々な課題に協調・協力して取り組み、進んで参画、貢献できるようにします。 ◆様々な人々と進んでコミュニケーションを図ることができるようにします。 ◆我が国や横浜の伝統・文化を尊重し、国際社会の様々な課題に目を向け、積極的に取り組むことができるようになります。

## 各教科等指導の重点 ～小・中一貫カリキュラムを通して～

重点的課題	(「横浜の子ども」の姿の具現化に向けて重点的に育成する資質・能力)				
	豊かな心の育成	健康でたくましい体の育成	国語力及び学習の基盤的能力の育成	コミュニケーション能力の育成	情報社会を生き抜く能力の育成
◎公共心や規範意識、礼儀を大切にしている態度の育成、責任ある行動の実践化を図るよう努めます。 ◎全教育活動を通して、人権尊重の精神の育成に努めます。 ◎豊かな感性や情操の育成に努めます。	◎体力向上など健康やかな心身、健康や食生活にかかわる能力の育成に努めます。	◎国語力の育成、言語活動の充実に向けて、事象を的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して伝え合う能力の育成に努めます。	◎心豊かな人間関係づくりのため、社会的スキルの育成や外国語活動、様々な交流活動の推進に努めます。	◎情報活用能力や情報モラル・マナーの育成に努めます。	◎社会の変化に対応する能力を身に付け、実生活や学習においてそれを活用できる力の育成に努めます。
小学部 スタートカリキュラム 読み聞かせ 音楽鑑賞会 児童会活動 ペア友活動 幼稚園・保育園交流 カウンセリングルーム訪問 道徳の時間 環境教育 人権教育 地域清掃 百人一首大会 MF校との交流 宿泊体験学習	宿泊体験学習 すくすく学習 マラソン大会 給食指導 食育 学校保健委員会 新体力テスト スポーツフェスティバル 体育祭	読み聞かせ 読書タイム 学習発表会 各教科等の学習 スピーチコンテスト NK読書	国際理解教室 外国語活動の充実 ペア友活動 MF校との交流 グループワークトレーニング	ICT学習 情報モラル 携帯電話教室 技術・家庭科、社会科授業の充実	環境教育 キャリア教育 食教育 安全教育(防犯、防災) 福祉教育 ものづくり
中学部 生徒会活動(挨拶運動、募金活動)、修学旅行、自然教室、野鳥遠足、くすのき祭、山手中華学校との交流、地域清掃、NK読書、福祉講演会、保育実習	保健指導 部活動		横浜山手中華学校との交流 英語コミュニケーションタイムの充実		

## 具体的取組

(重点課題の具現化のために計画的に推進する取組)

『横浜の時間』の創設	小中英語教育の推進	読解力向上へ向けた横浜型指導モデルの推進	一人ひとりのニーズに対応した教育の実現
■国際交流、キャリア、福祉など地域の人々とかかわりながら、体験的・問題解決的な学習活動を進めます。 ■かながわ開発教育センターと連携し、地球の課題学習や世界遺産学習を推進します。	■9年間を見通した英語教育を推進し、英語によるコミュニケーション能力の基礎を育成します。 国際理解教室 英語の小中交流授業 コミュニケーションタイムの充実	■すべての教科等において「考える力」を中核として「理解する力」「表現する力」を高める読解力を育成します。 ■読書活動の推進、横浜市立図書館との連携と学校図書館の機能の充実を図ります。	■子どもの実態を正しく把握し、一人ひとりのニーズに応じた指導を工夫します。 習熟度別指導 少人数指導 T.T指導 習得・活用の学習の充実 個別支援計画 ■教育的支援を必要とする子どもに対応する環境整備を進めます。 教育相談 個人面談 SCや関係諸機関と連携した支援体制

# 義務教育学校（小中一貫教育）の取組



体育祭

小中一貫校（釜利谷西小学校と西金沢中学校）の時代から、一小一中の特性を生かして交流授業や行事の連携を図ってきました。

## 横浜型小中一貫教育の目指すもの

～全市で推進していく小中一貫教育～

義務教育9年間の連続性のある教育の推進

義務教育学校9年間で育てる子どもの姿や、小中学校の教員が「学力観」「指導観」「評価観」等の「教育観」を共有して、小中一貫カリキュラムに基づく教育を進める。

### ◇学びの連続性

学習内容・指導方法・学習習慣の連続性を図り、学力向上のための授業改善を進める。

### ◇児童生徒理解・指導の充実

いわゆる「中一ギャップ」といわれる、中学校入学後の不適応や中学校生活の不安を解消するために、小中間の情報交換や児童生徒への適切な配慮と対応、教育相談の充実を目指す。



児童生徒による連携

## 義務教育学校の設置について


平成27年の学校教育法等の改正（28年4月施行）により、9年間一貫した教育を行う「義務教育学校」が新たに創設された。本校の校種は、学校教育法第1条に新たに規定された「義務教育学校」であり、平成29年4月に開設された。一つの学校教育目標をもとにして全ての教科等において「小中一貫カリキュラム」を作成し、9年間の連続した特色ある教育を展開する。

本校は、「横浜教育ビジョン」で示した“横浜の子ども”の姿を、義務教育9年間の滑らかな接続の中で実現し、その教育実践の集積や情報の発信を通して、市内全校で実施している横浜型小中一貫教育の推進に資する。

## 主な学校行事（令和元年度）

月	小学部	☆	中学部
4	・入学式 ・身体計測、各種検診（～5月） ・授業参観、懇談会 ・家庭訪問（～5月）	☆着任式、始業式 ☆1年生を迎える会	・離任任式 ・7年進級式 ・離任任式 ・中学期進級生歓迎会 ・身体計測、各種検診（～5月） ・授業参観、懇談会 ・教育相談 ・7年遠足 ・9年修学旅行（京都・奈良）
5	・6年修学旅行（日光）	・一日授業参観 ☆PTA総会・教育課程説明会	・7年動物園キャリア体験（金沢動物園） ☆生徒総会
6	・5年宿泊体験学習（三浦） ・NKパワースポフェスティバル（1～4年） ・4年宿泊体験学習（愛川） ・プール開き		・8年自然教室（長野県飯山市戸狩） ・前期中間テスト ・横浜山手中華学校との交流
7	・個人面談 ・夏季水泳学習 ・区水泳大会		・個人面談 ・学習相談（7、8月）
8	・市水泳大会	☆総合防災訓練	・教育相談
9	・懇談会		☆体育祭（5～9年） ☆前期期末テスト ・授業参観・懇談会
10	・金沢区児童音楽会（3年）	☆くすのき祭（5～9年）	☆期分け式 ・合同体育祭（個別支援級）
11	・就学時健康診断 ・個別支援学級宿泊体験学習（三浦） ・横浜市立小学校体育大会（6年）		・横浜市学力・学習状況調査（9年） ・個別支援学級宿泊体験学習（愛川） ・後期中間テスト ・生徒会役員選挙 ☆学校保健委員会
12	・個人面談 ・金沢区小学校球技大会		・個人面談
1	・書き初め会 ・百人一首大会		・書き初め会 ・百人一首大会 ・職場体験 ・教育相談 ・合同学習発表会（個別支援学級） ・後期期末テスト（9年）
2	・横浜市学力・学習状況調査（1～6年） ・合同学習発表会（個別支援学級） ・マラソン大会 ・新1年保護者説明会 ・個人面談		・新7年進級生保護者説明会 ・横浜市学力・学習状況調査（7・8年） ・後期期末テスト（7・8年）
3	・懇談会 ・前期課程修了証書授与式 ・修了式		・卒業証書授与式 ・修了式

○小学部・中学部行事の協働化 次のように小中学部で行事の協働化を行っています。

行事	時期	対象	ねらいと概要
全校集会  児童生徒 交流会	4月  通年	1～9年	<p>全校児童生徒が気持ちを合わせて新1年生を温かく迎えることを通して、自分たちの学校のおよや雰囲気をおらためて感じ取り、互いの存在を認めたり仲間意識を育てたりするため、協力して集会を開く。</p> <p>また、児童会活動と生徒会活動の協働とリーダーの育成を目的とした実践活動を計画的に行う。</p> 
オーストラリア 現地校や 横浜山手中 華学校との 交流	通年	1～9年	<p>様々な国の生活習慣・文化・考え方に対する理解を深めることにより、児童生徒の国際性を培う。また直接・間接の交流をきっかけとしてコミュニケーション能力の育成を図り、さらに日本文化についての理解を深めるための手だてとするため、小中学部での授業体験・生活体験等を通してメイフィールド校や横浜山手中華学校の児童生徒と交流を行う。</p>
防災訓練	9月 11月	1～9年	<p>地震や火災を想定して、防災訓練を合同で行う。立地条件を考慮して、安全に避難できるように訓練するとともに、児童生徒一人一人の災害に対する意識を高め、自主的に行動できるようにすることをめざす。</p>
体育祭	9月	5～9年	<p>児童生徒が計画や運営に参加することで、集団活動を通して小中一貫の意識を高め、自主性や自立心を養うため、小学部5・6年生から中学部9年生までが演技・競技に参加する。また、小学部代表児童は、中学部生徒とともに計画・運営に参加する。</p>
くすのき祭	10月	5～9年	<p>児童生徒が日頃の学習活動の成果を生かして自ら目標を設定し、その目標を創意工夫しながら達成する喜びを味わう。様々な人と協力し交流して取り組むことのおよや楽しさを知っていく中で、個性の違いを認め合い、相手を尊重する姿勢を身につけることをねらいとして、くすのき祭の合唱祭に小学部5・6年生が参加し、中学部の合唱を聴くとともに、小学部の音楽の授業で学習し、練習してきた自分たちの合唱を披露する。</p>
NK パワスポ フェスティバル	10月	1～4年	<p>小学部1～4年生が参加して行う運動会。4年生がリーダーとして、活動全体をまとめる。4年生でのリーダー体験を、その後の学校生活に生かしていき、よりよい小学部リーダーを目指していく。（令和元年度は、体育館工事に伴い6月実施）</p>
小中合同 学校保健 委員会	11月	小中保健 委員会	<p>小中学部それぞれの児童生徒保健委員が中心となって健康に関するテーマを検討し、テーマに基づいてPTAや学校医・薬剤師等とともに学び合う。内容によって消防署等関連機関に講師を依頼している。栄養教諭の指導により食生活について考える等、小中学生合同のグループ活動を取り入れ、交流を深めながら健康に対する意識を高めることを目的とする。</p>

# 特色ある教育活動

## ☆地域との連携

### 読み聞かせボランティア

毎週火曜日の朝 8 時 30 分より 15 分間、全学年が本を読んでもらっています。



### 学援隊

児童登下校時の見守り活動をしていただいています。



### 小さな音楽会

毎月 1 回中休みに、様々な楽器などで児童たちに演奏を披露していただいています。



### 運動会 の「金沢音頭」

のご指導。校外学習でのボランティア参加。各教科等の学習でのご支援をいただくこともあります。



まちはらっぱでの野菜作り(小)



職場体験(中)

## ☆異文化交流と日本伝統文化の継承



和楽器体験(小・中)



茶道体験(小・中)



### 茶道体験、琴・尺八体験、和太鼓体験

日本の伝統文化をその道のプロに教わる、「ほんもの体験」。



オーストラリアとの交流(小・中)



横浜山手中華学校との交流(中)

## ☆異学年交流活動



異学年交流(小)

小中交流給食等の異学年交流や、異校種間での交流活動が、子どもたちの可能性を伸ばします。



児童会・生徒会の交流(小・中)

☆5年生後半からの部活動



☆小学生・中学生による読み聞かせ



☆体育祭（5～9年生）



☆体育祭選手宣誓（小・中学生共に）



☆NKパワスポフェスティバル（1～4年生）



☆学校運営協議会（小学部・中学部）



☆くすのき祭（5～9年生）



## 学校基本情報

### 1 学校の歴史

昭和50年 9月 1日 横浜市立釜利谷西小学校開校  
 昭和56年 4月 1日 横浜市立西金沢中学校開校  
 平成22年 4月 3日 横浜市立小中一貫校西金沢小中学校開校  
 平成29年 4月 1日 横浜市立義務教育学校西金沢学園開校  
 (横浜市立西金沢義務教育学校)

### 2 職員構成

校長 増田 昌浩

副校長 小学部 中川 浩二 中学部 高橋 一雄

小学部	管理職	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	給食調理員	学校用務員	非常勤講師	AET	IUI	学校司書	理科支援員	合計
男	1	1	9	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	14
女	0	2	11	1	1	0	1	2	3	0	1	1	1	24
計	1	3	20	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	38

中学部	管理職	主幹教諭	教諭	養護教諭	事務職員	学校用務員	非常勤講師	AET	学校司書	アシスタント	カウンセラー	合計
男	2	2	6	0	0	2	1	1	0	0	0	14
女	0	0	8	1	1	0	0	0	1	1	1	13
計	2	2	14	1	1	2	1	1	1	1	1	27

### 3 児童・生徒数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	個別	小計	7年	8年	9年	個別	中計	総計
男	31	35	34	27	42	40	9	218	31	28	17	2	78	296
女	32	41	49	38	50	48	3	261	32	25	28	0	85	346
計	63	76	83	65	92	88	12	479	63	53	45	2	163	642

※令和元年11月1日 現在